

## 会長に就任して

OBが顔を合わせる対面の総会は、今年もコロナ・ウィルス感染蔓延のために開催できませんでした。メール審議という少し変則の総会でしたが、神山先輩の後を引き継いで会長に指名された柴崎（高22回）です。

私達は、現役時代には全く成績を残せなかった世代です。埼玉国体世代の神山先輩達、堀江先輩達、後の新井君、今の理事長の小淵君、いずれも県No1の成績が残っているのに、私達は県大会にも出場できませんでした。ただ、私自身は大学でもテニスが続け（運動部として）、現在でも週に1回程度は軟式（ソフト）テニスで汗を流しています。高校、大学時代のテニス仲間とは長い付き合いになっています。同じ釜の飯を食う、と言いますが、長く共に汗を流した経験は良き友人を作るのだと思います。また、軟式（ソフト）テニスは、年齢を重ねても続けることが可能な運動だという事だと思います。最近読んだ記事によると、運動は健康維持に大切だということはある意味常識ですが、運動の種類と健康の関係を調べた結果、テニスをやっている層が最も健康だったとか。

さてコロナ禍が続き、現役もそして多分OBも、なかなかテニスを楽しめないのではと思います。OB会の主たる目的の一つである、OBの懇親の場を提供する、手助けをする、ことも難しい状況です。ですが、近い将来にはこのコロナ禍も終焉することを信じて、OB会の2つの大きな目的、OB相互の親睦を深める、現役世代の支援をする、達成のために小淵理事長ともども、微力を尽くしたいと思います。今後ともOBの方々のご支援をお願い申し上げます。